

# 地域別構想

---





# 第5章 地域別のまちづくりの方針

## 1 地域区分の設定

地域別構想は、全体構想で示した各分野の整備方針をもとに、各地域の現状や課題を踏まえつつ、地域まちづくりの目標を設定し、その実現に向けた方針を示します。

地域の区分は、地域的なまとまり・つながりを尊重し、合併前の旧市町単位を基本とした、都市計画区域の高梁・落合・成羽の3地区、都市計画区域外の高梁・成羽・有漢・川上・備中の5地域について、各地区・地域の特性を生かしたまちづくりを推進します。

## 2 地域・地区のまちづくりの方針

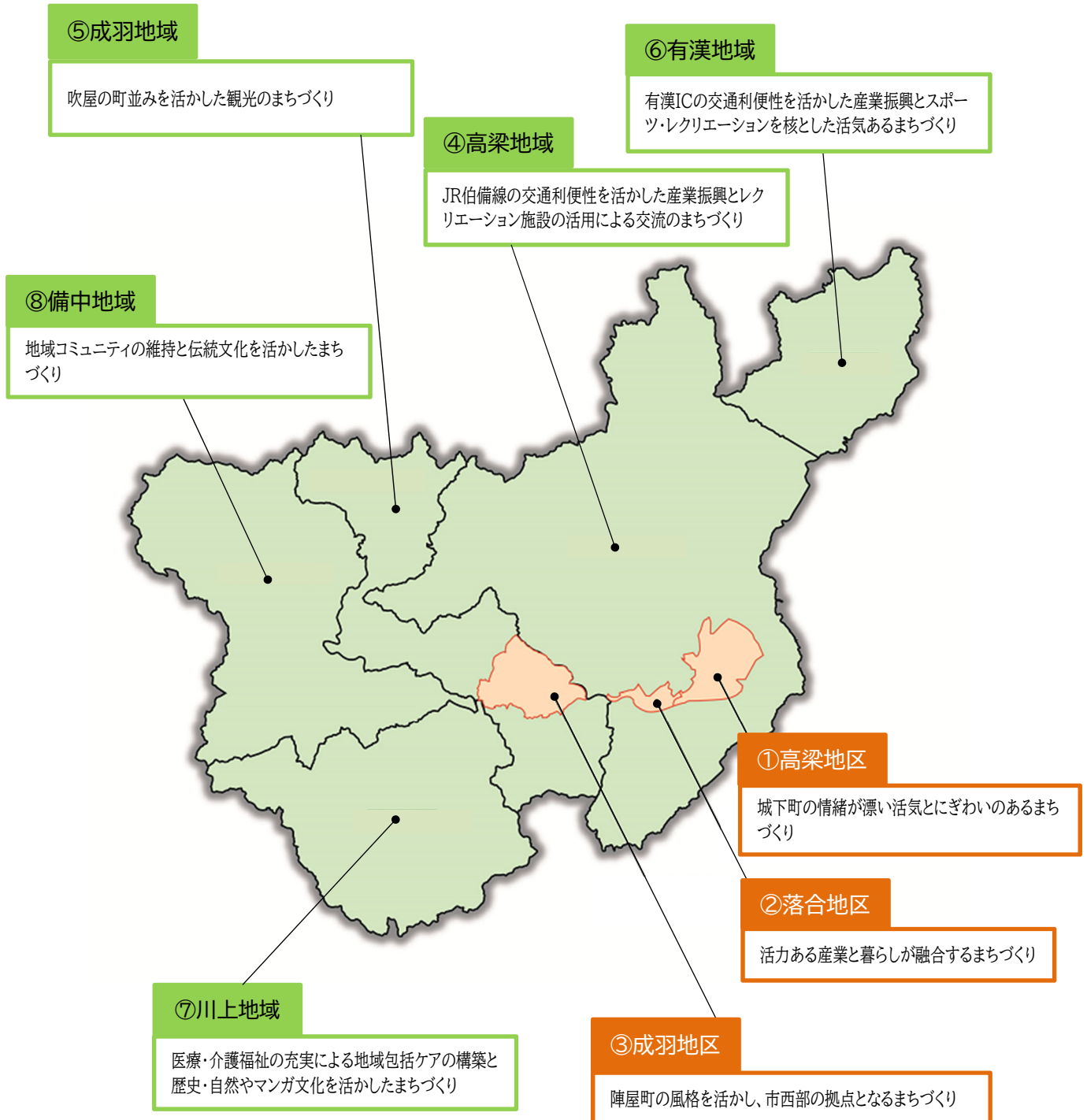
地域区分表

地区・地域名	人口	エリア	
①高梁地区	8,365人	都市計画区域	・高梁都市計画区域のうち、落合橋以北
②落合地区	3,375人		・高梁都市計画区域のうち、高梁川以西かつ落合橋以南
③成羽地区	2,948人		・高梁都市計画区域のうち、旧成羽町域
④高梁地域	7,276人	都市計画区域外	・旧高梁市域のうち、都市計画区域を除くエリア
⑤成羽地域	1,123人		・旧成羽町域のうち、都市計画区域を除くエリア
⑥有漢地域	1,966人		・旧有漢町域
⑦川上地域	2,426人		・旧川上町域
⑧備中地域	1,593人		・旧備中町域

※人口は令和2年国勢調査結果による

※都市計画区域の人口はGISにて100mメッシュを用いて算出

## 地域区分図



## ① 高梁地区のまちづくり方針

### ①-1 地区のテーマと目標

#### 【方向性】

城下町の情緒が漂い活気とにぎわいのあるまちづくり

#### 目標①：本市の中心市街地としての都市機能強化

交通拠点や公共施設、商業施設などの効率化・活性化を図り、都市計画道路の整備を行い、中心市街地としての都市機能の強化に努めます。

#### 目標②：定住人口の増加に向けた取組みの強化

U I J ターンの受け入れ態勢を整えるほか、空き家情報の積極的発信などを行い、本市の中心拠点として定住人口の増加を目指します。

#### 目標③：歴史・文化財を活用した観光振興の推進

備中松山城下の歴史的町並みを観光資源として、地域のにぎわいを創出するため、建築物の維持管理や歩道の安全確保、積極的な観光PRなどを推進します。

### ①-2 地区整備の現状と課題

#### (1) 土地利用・市街地整備

#### 現 状

- ・ J R 備中高梁駅西側は、市役所や図書館等の公共施設をはじめ、備中高梁駅や高梁バスセンターの交通結節機能が配置されるとともに、医療・福祉・商業・宿泊施設等の高次な都市機能が集積しています。
- ・ 保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・専修学校の教育施設が整備されています。
- ・ J R 備中高梁駅東側は、歴史・文化・交流施設が充実していますが、医療・商業施設等が立地しておらず、J R 備中高梁駅西側と比較すると都市機能が乏しい状況です。
- ・ 吉備国際大学の学生数が年々減少しています。
- ・ 人口減少等に伴い、空き家が増加しています。

## 課題

- ・まちなかの休憩所や景観的に統一された案内・説明看板整備など、観光客にやさしいまちづくりが必要です。
- ・学生にとって魅力あるまちづくりや若者の定住促進が求められています。
- ・昼間人口が夜間人口より多いため、居住地としての魅力向上が課題となっています。
- ・人口減少等に伴い、空き家が増加しており、適正な維持管理が難しくなっています。
- ・持続可能な中心市街地を形成するため、高梁市立地適正化計画に定める「まちなか居住エリア」における居住の集約及び「まちなか便利エリア」における都市機能や誘導施設の集約を推進する必要があります。
- ・市街地内の低・未利用地については、市街地開発事業や地区計画制度、民間等による開発事業などを活用し、道路や公園などの都市基盤が整った面的な整備を促進する必要があります。
- ・災害のおそれのある区域について、災害の危険度や対策の状況を踏まえつつ、市街化の抑制を図る必要があります。

## (2) 都市交通

## 現状

- ・JR伯備線は、備中高梁駅から岡山方面が40本（内特急13本）、新見・米子方面が28本（内特急13本）運行しています。
- ・高梁市内には5つの駅がありますが、このうちの93%の乗車人員をJR備中高梁駅が占めています。
- ・高梁バスセンターが、民間路線バスの拠点として整備されています。
- ・広域幹線道路は、国道180号（313号）が地区の主軸として南北に横断しています。
- ・JR備中高梁駅周辺の幹線道路ネットワークが脆弱です。

## 課題

- ・都市計画道路等の整備が必要です。
- ・本市の玄関口となる中心部や、観光拠点となるエリアにおいて、だれもが自由に移動できるよう、バリアフリー化を進める必要があります。

## (3) 上下水道・河川整備

## 現状

- ・公共下水道は、高梁地区を中心とした466haで污水处理施設整備が完了しています。
- ・農業集落排水施設は、檜井地区5.0haで污水处理施設整備が完了しています。
- ・地区の中心を流れる高梁川は、水と緑の空間を形成しています。

## 課題

- ・適正な維持管理と、老朽化に伴う計画的な改築・更新等を行うことが必要です。
- ・地域住民に親しまれる水辺の空間づくりが求められます。

## (4) 公園・緑地

## 現状

- ・高梁運動公園、高梁中央公園、正宗公園等の都市公園が整備されています。
- ・市街地には住民に身近な街区公園を整備しています。
- ・高梁運動公園は広域のスポーツ、レクリエーション拠点として機能しています。

## 課題

- ・市民の憩いの場となる公園や緑地の維持・保全を進めるとともに市街地等の緑化の推進を図るため、総合的な緑の保全と創出が必要です。
- ・老朽化した遊具の計画的な改修等の実施が望まれます。

## (5) 自然環境

## 現状

- ・高梁川や山林等の豊かな自然環境に恵まれています。

## 課題

- ・自然環境を豊かな状態で後世に伝えていくため、自然体験や学習の場としての活用を図るとともに、環境保全に努める必要があります。

## (6) 防災・防犯

## 現状

- ・中心部で浸水、土砂災害のおそれがあります。
- ・ハザード区域に多くの方が住んでいます。
- ・高梁市防災マップを作成し、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難所等が確認できるよう市のホームページへ掲載しています。
- ・小高下谷川以北付近は液状化の危険性があります。

## 課題

- ・老朽化が進んでいる公共施設の耐震対策が求められます。
- ・避難行動要支援者への対応が求められます。
- ・ハード及びソフト対策による防災・減災対策を推進する必要があります。

## (7) 景観形成

現状	・紺屋川以北の武家屋敷や町家、東側の山裾に連なる神社仏閣などが城下町の風情を色濃く残し、それらの歴史的町並み以南には多様な都市機能が広く立地しています。
課題	・景観の維持向上について、地域住民の意識作りが課題となっています。

### ①-3 地区のまちづくり方針

#### (1) 土地利用・市街地整備

- J R 伯備線で分断された線路以東からの J R 備中高梁駅へのアクセスや回遊性の向上を図るため、都市計画道路等の整備を計画的に進めます。歴史的町並み保存については、高梁市景観計画に基づき、まちづくりを進めていきます。都市計画道路沿道に民間宅地開発を誘導するとともに、都市機能の立地を促進するなど、J R 備中高梁駅東側においても一定の日常的なサービスが充足できることを目指します。
- J R 備中高梁駅周辺においては、バスセンターや観光案内所、図書館の機能を兼ね備えた複合施設を核とした中心市街地の活性化を図ります。
- 公共施設整備などにおいては、ユニバーサルデザインの視点から整備を行い、すべての人が暮らしやすいまちづくりを目指します。
- 教育・福祉施設では、幼保一元施設の整備を行うとともに、旧施設跡地の利活用について検討します。
- 観光看板等の多言語表記の充実を図るほか、積極的な P R を行い外国人観光客の誘致に努めます。
- 県中西部の中心都市としての役割を担う商業地を J R 備中高梁駅周辺を中心とする「まちなか便利エリア」に配置します。
- 「まちなか居住エリア」については「専用住宅地」として位置付け、低層住宅を中心とした良好な住環境の維持に努めます。このうち、既に良好な環境を有している住宅地や、新たに開発を行う住宅地については、地区計画等の手法を活用しながら、住宅地の維持又は形成を目指します。
- 空き家情報バンク制度などを活用しながら空き家の利活用を推進します。
- 災害により著しい被害が想定される急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域については、市街化の抑制を図ります。

#### (2) 都市交通

- 都市計画道路下町薬師院線、南町近似線等の整備を計画的に推進します。



- 備中高梁駅及びその周辺は、地域公共交通網の再編における「交通結節点」として位置付け、利便性の向上を図るとともに、交流拠点としての環境づくりや玄関口としての顔づくりを進めることにより、乗降客数の減少に歯止めをかけ、地域への観光客誘致へつなげます。
- バリアフリーの移動環境を整備し、回遊性を高め、地域の活性化を目指します。

### (3) 上下水道・河川整備

- 上水道施設の適正な維持管理を進めます。
- 老朽化が進んでいる公共下水道施設については維持管理を計画的に行います。
- 洪水時の浸水被害の軽減を図れるよう、関係機関に要望します。
- 既設ダムの洪水調節機能強化(事前放流)の実施により、高梁川の治水安全度を向上する取組を進めます。

### (4) 公園・緑地

- 正宗公園は、防災機能を確保しつつ、新庁舎と一体的な利活用が可能な交流・にぎわいスペースとしての環境づくりを進め、イベント等での利活用を図ります。
- 「第2次高梁市環境基本計画」に基づき、快適な生活環境の形成を図る上で、市民の憩いの場や子どもの遊び場となる身近な公園や広場の充実を図ります。

### (5) 自然環境

- 豊かな山林や高梁川等の自然環境を保全します。
- 循環型社会を目指すため、可燃ごみの排出抑制、ごみの適正な処理、再資源化を推進し、クリーンセンター、リサイクルプラザ等の適正な維持管理を図り、環境を保全します。

### (6) 防災・防犯

- 高梁市防災マップを活用し、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域、避難所等の情報を住民へ周知し、自助・共助・公助による減災を図ります。
- ハード及びソフト対策による防災・減災対策を推進します。
- 防犯灯の新設・LED化、防犯カメラの設置に対して町内会等を支援します。

### (7) 景観形成

- 本地域の最大の資源である歴史的町並みを保全しながら、都市機能の配置や景観へ配慮した整備を目指します。
- 歴史的風致維持向上計画に基づいた、景観へ配慮した道路整備や町家保存事業を行い、歴史的景観や文化を保存します。
- 都市の良好な景観を創出する貴重な自然景観として、市街地周辺の緑地や高梁川を位置付けます。
- 高梁を特徴づける景観として、国指定重要文化財の備中松山城がある臥牛山や頼久寺庭園の借景となっている愛宕山を位置づけ、適切な保全を図ります。
- 市の玄関口としてふさわしい景観を形成します。

## ② 落合地区のまちづくり方針

### ②-1 地区のテーマと目標

#### 【方向性】

#### 活力ある産業と暮らしが融合するまちづくり

##### 目標①：適正な土地利用規制による住み良い環境の形成

本地区の一部で見られる用途混在を防ぐため、用途に応じた快適で住み良い居住環境形成を目指します。

##### 目標②：工業系の既存機能の維持・強化による地域経済の活性化

工業地域として、既存機能の維持・強化を推進することで、地域経済の活性化を図ります。

##### 目標③：近接地域と連携したにぎわいあるまちづくりの推進

近接する高梁・成羽地区への公共交通によるアクセス向上をはじめ、地域間の連携強化を図り、にぎわいあるまちづくりを推進します。

### ②-2 地区整備の現状と課題

#### (1) 土地利用・市街地整備

#### 現状

- ・国道313号沿いに商業施設や医療・福祉施設、教育施設等の多様な都市機能が集積し、近年においても商業施設は増加傾向にあり、日常を支える生活利便性が充実しています。
- ・近年、宅地開発などにより戸建て住宅やアパートが増加しています。
- ・国道313号南部には工業施設が集積しています。
- ・成羽川沿いに広がる工業地域の一部では、商工業施設と戸建て・アパートの混在が見られます。

## 課題

- ・住居・商業・工業用途の混在が課題となっています。
- ・市街地のさらなる活性化による、まちのにぎわいづくりが求められています。
- ・持続可能な市街地を形成するため、高梁市立地適正化計画に定める「まちなか居住エリア」における居住の集約を推進する必要があります。
- ・市街地内の低・未利用地については、市街地開発事業や地区計画制度、民間等による開発事業などを活用し、道路や公園などの都市基盤が整った面的な整備を促進し、土地を有効利用することが課題となっています。
- ・災害のおそれのある区域について、災害の危険度や対策の状況を踏まえつつ、市街化の抑制を図る必要があります。

## (2) 都市交通

## 現状

- ・幹線道路沿いに都市機能が配置されているため、地区外から路線バスを使ってアクセスしやすくなっています。
- ・主要幹線道路として国道313号が東西に横断しています。
- ・路線バスが国道313号を運行しています。
- ・シャトルバスでJR備中高梁駅周辺まで送迎している商業施設があります。

## 課題

- ・国道313号の安全性・利便性の向上が望まれます。

## (3) 上下水道・河川整備

## 現状

- ・地区の中心を流れる成羽川は、水と緑の空間を形成しています。
- ・公共下水道が整備されています。

## 課題

- ・成羽川の治水対策の充実が求められます。
- ・内水対策が求められます。

## (4) 公園・緑地

## 現状

- ・ききょう緑地、落合公園などの都市公園や都市緑地が整備されています。

## 課題

- ・老朽化した遊具の計画的な改修等が必要です。

## (5) 自然環境

現状	・成羽川や山林等の豊かな自然環境に恵まれています。
課題	・山林の保全、河川の水質の維持等により自然環境との共生を図る必要があります。

## (6) 防災・防犯

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道 313 号沿線周辺に浸水のおそれがあります。</li> <li>・落合小学校以西付近は液状化の危険性があります。</li> <li>・高梁市防災マップを作成し、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域、避難所等が確認できるよう市のホームページへ掲載しています。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所、避難路の確保が必要です。</li> <li>・ハード及びソフト対策による防災・減災対策を推進する必要があります。</li> </ul>

## (7) 景観形成

現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型商業施設などの店舗がにぎわいのある景観を形成しています。</li> <li>・住宅や商業施設だけではなく工場などが建ち並び、多様な市街地景観が形成されています。</li> </ul>
課題	・各々の土地利用や特性に応じた良好な市街地景観の形成が必要です。

## ②-3 地区のまちづくり方針

### (1) 土地利用・市街地整備

- 子育て世代から高齢者まで安心して快適に暮らせるように、既存の多様な都市機能を維持することにより、生活利便性の確保や地域の魅力・活力の向上を目指します。
- 国道 313 号沿道の様々な施設が集積するエリアについては、沿道型商業サービス施設等の集積を進め、魅力と活力のある空間の創出を図ります。
- 落合小学校近隣や成羽川沿いの工業地域については「内陸工業地」として位置付け、工業地域内にある住宅については、中長期的な視野に立ち、ゆるやかに「まちなか居住エリア」に誘導していきます。

- 「まちなか居住エリア」については低層住宅を中心とした良好な住環境の維持に努めます。このうち、既に良好な環境を有している住宅地や、新たに開発を行う住宅地については、地区計画等の手法を活用しながら住宅地の維持又は形成を目指します。
- 災害により著しい被害が想定される急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域については、市街化の抑制を図ります。

## (2) 都市交通

- 国道313号の安全性・利便性の向上に向け、関係機関への要望活動を行います。

## (3) 上下水道・河川整備

- 上水道施設の適正な維持管理を進めます。
- 老朽化が進んでいる公共下水道施設については維持管理を計画的に行います。
- 内水氾濫への対策として、雨水ポンプ場を整備します。
- 洪水時の浸水被害の軽減を図れるよう、関係機関に要望します。
- 既設ダムの洪水調節機能の強化(事前放流)の実施により、成羽川の治水安全度を向上する取組を進めます。

## (4) 公園・緑地

- 市民の憩いの場や子どもの遊び場となる身近な公園や広場の充実を図ります。

## (5) 自然環境

- 豊かな山林や成羽川等の自然環境を保全します。

## (6) 防災・防犯





















- 避難路や代替輸送路を確保し、周知に努めます。
- ハード及びソフト対策による防災・減災対策を推進します。
- 防犯灯の新設・LED化、防犯カメラの設置に対して町内会等を支援します。
- 高梁市防災マップを活用し、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域、避難所等の情報を住民へ周知し、自助・共助・公助による減災を図ります。

## (7) 景観形成

- 住宅地や工業地など土地利用や特性に応じた良好な市街地景観の形成を図ります。

# 高梁・落合地区まちづくり方針図

## 凡 例

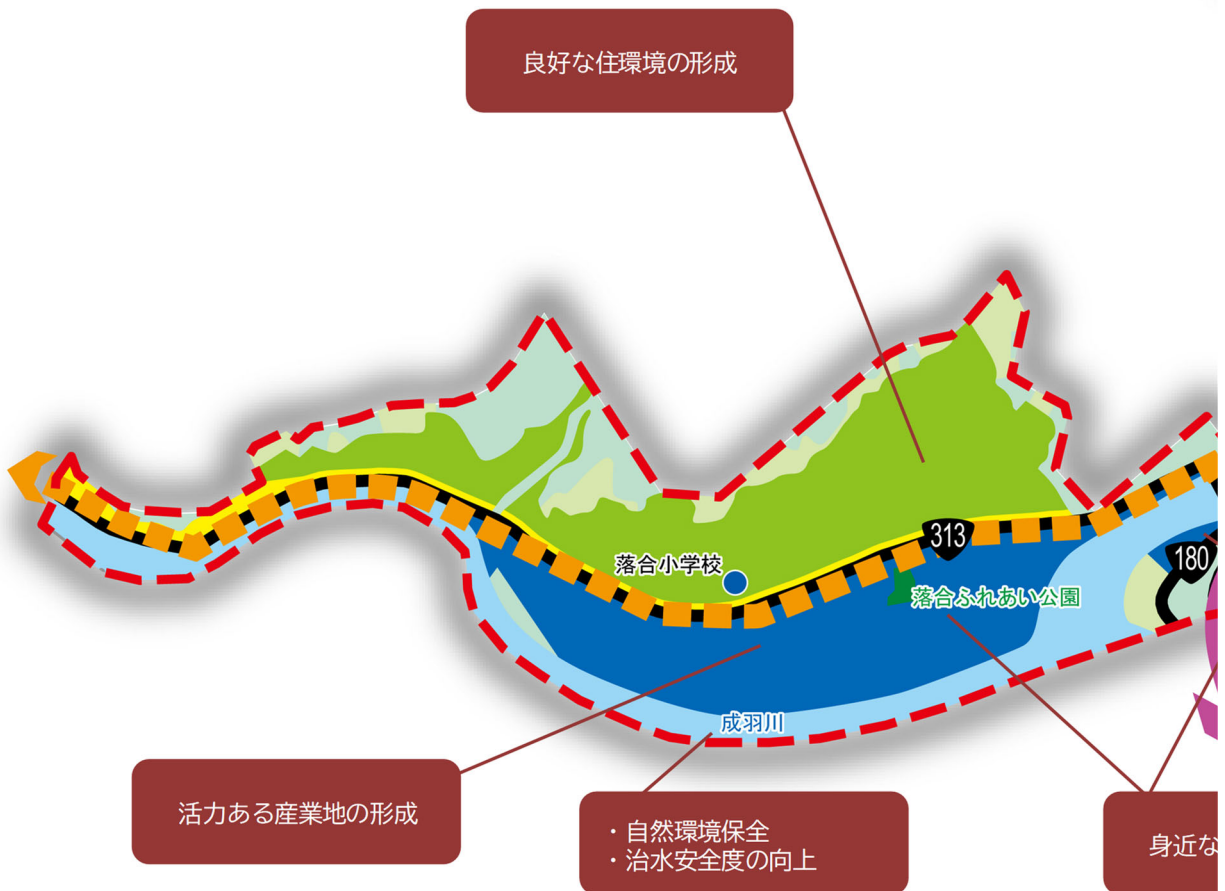
	都市計画区域		鉄道・駅
	専用住宅地		国道
	一般住宅地		主要地方道
	商業・業務地		都市計画道路(計画)
	商業地		都市計画道路(既成)
	工業地		都市施設
	公園・緑地		小学校・中学校
	田園集落地		市役所・支所
	山林地		広域連携軸
	河川		地域連携軸

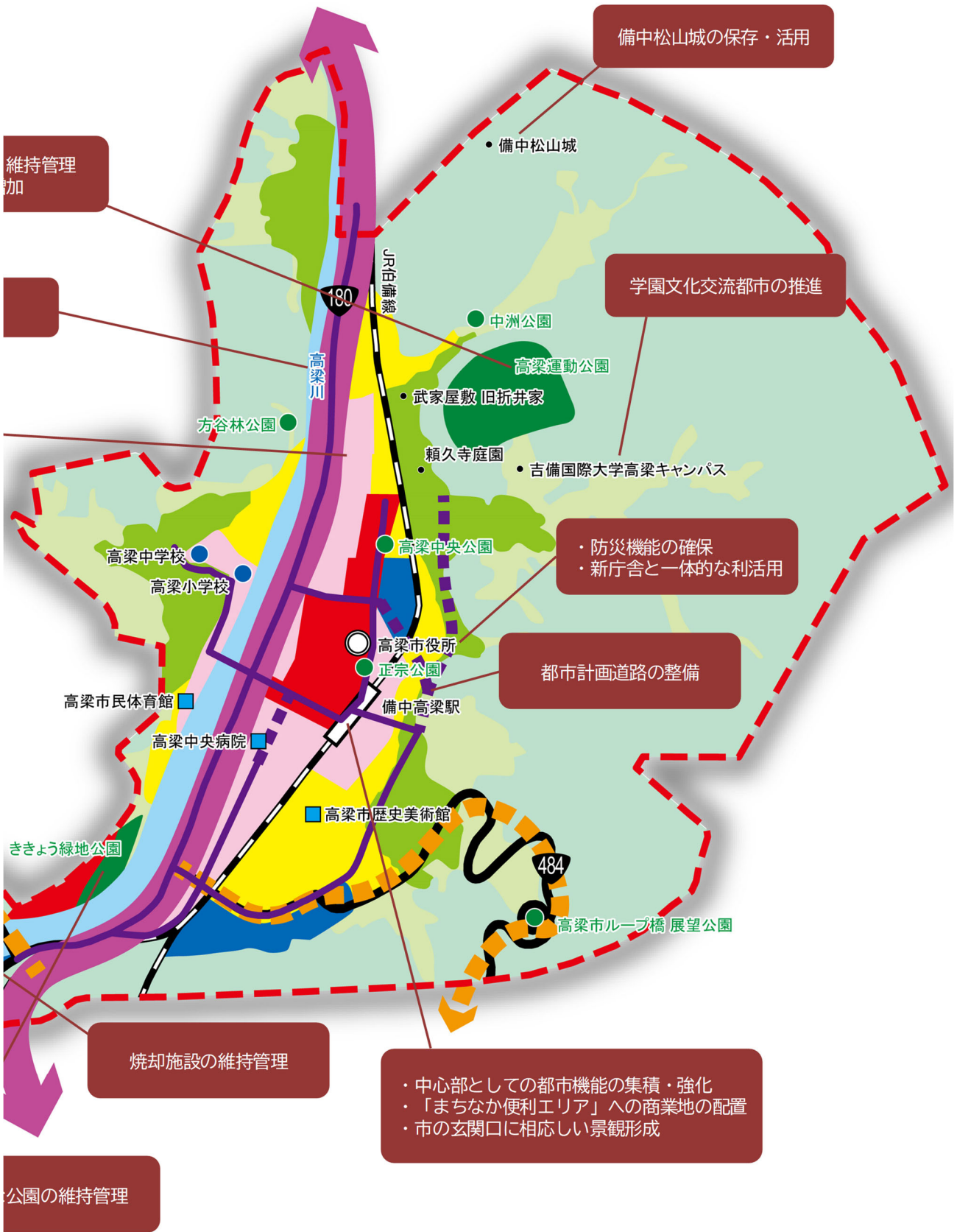
・公園の整備・  
・交流人口の増

・治水対策  
・自然環境の保全

・歴史的町並みの保全・修景  
・低層住宅地の形成

良好な住環境の形成





## ③ 成羽地区のまちづくり方針

### ③-1 地区のテーマと目標

#### 【方向性】

陣屋町の風格を活かし、市西部の拠点となるまちづくり

#### 目標①：良好な商業地の更なる発展

本地区の国道313号沿いは商業地域や公共施設が集積しているため、今後も現在の土地利用を継続することで、本地区の中心地域としての発展を図ります。

#### 目標②：公共交通網再編による住み良い居住環境の形成

成羽病院を中心とした公共交通網の再編を行い、効率的・効果的な運行形態を検討することで、どこからでも都市施設を利用できる交通利便性の良い居住環境の確保に努めます。

#### 目標③：成羽複合施設（たいこまるプラザ）を中心とする行政・交流機能の維持向上

本地区の行政・交流機能を再編整備した成羽複合施設（たいこまるプラザ）を中心に行政サービスの維持向上を図るとともに、交流機能を活かしたにぎわいの創出を図ります。

### ③-2 地区整備の現状と課題

#### (1) 土地利用・市街地整備

#### 現状

- ・成羽川の南側では、成羽川沿いに陣屋町の面影を残しながら住宅地が形成されています。
- ・国道313号沿いには、成羽複合施設（たいこまるプラザ）をはじめ、成羽病院や鶴寿荘等の医療・福祉施設、商業施設等の多様な都市機能が集積し、市西部生活拠点としての役割を担っています。

#### 課題

- ・持続可能な生活拠点を形成するため、高梁市立地適正化計画に定める「まちなか居住エリア」における居住の集約及び「まちなか便利エリア」における都市機能や誘導施設の集約を推進する必要があります。
- ・市街地内の低・未利用地については、市街地開発事業や地区計画制度、民間等による開発事業などを活用し、道路や公園などの都市基盤が整った面的な整備を促進し、土地の有効利用を図る必要があります。
- ・災害のおそれのある区域について、災害の危険度や対策の状況を踏まえつつ、市街化の抑制を図る必要があります。



## (2) 都市交通

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・主要幹線道路として国道 313 号が東西に横断しています。</li><li>・路線バスと生活福祉バスが運行しています。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・成羽病院周辺を交通拠点として位置づけ、地域公共交通網を整備し、利便性の高い公共交通ネットワークを構築する必要があります。</li></ul>

## (3) 上下水道・河川整備

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・地区を東西に流下する成羽川は水と緑の空間を形成しています。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・成羽川流域の治水安全度の向上が求められます。</li><li>・地域住民に親しまれる水辺の空間づくりが求められます。</li></ul>

## (4) 公園・緑地

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・なりわ運動公園を整備しており、広域のスポーツ、レクリエーション拠点として機能しています。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・なりわ運動公園を拠点とした交流人口の増加を目指し、維持管理を行う必要があります。</li><li>・老朽化した施設の計画的な改修等の実施が望まれます。</li></ul>

## (5) 自然環境

現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・成羽川や山林等の豊かな自然環境に恵まれています。</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・自然環境を豊かな状態で後世に伝えていくため、自然体験や学習の場としての活用を図るとともに、環境保全に努める必要があります。</li></ul>

## (6) 防災・防犯

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成羽川沿岸の広範囲が浸水被害に合うおそれがあります。</li> <li>・地区の主要箇所が土砂災害発生時に被災するおそれがあります。</li> <li>・広い範囲で液状化の危険性があります。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード及びソフト対策による防災・減災対策を推進する必要があります。</li> <li>・避難行動要支援者への対応が求められます。</li> <li>・高梁市防災マップを活用し、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域、避難所等の情報を住民へ周知し、自助・共助・公助による減災を図ります。</li> </ul>

## (7) 景観形成

現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成羽美術館は、陣屋町の歴史的な風情と調和した近代建築として、地域のシンボルとなっています。</li> </ul>
課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地の公共空間において、陣屋町の町並みを活かしつつ地域の人々に親しまれる良好な景観づくりが必要です。</li> <li>・地域全体の魅力向上のため、主要な道路の沿道景観を整備する必要があります。</li> </ul>

### ③-3 地区のまちづくり方針

#### (1) 土地利用・市街地整備

- へき地医療拠点病院である成羽病院を中心に、地域に密着した医療体制を目指します。
- 成羽長寿園・成羽こども園を中心に、高齢者と乳幼児との相互交流や新たな連携の可能性を広げるとともに、都市機能の集約・強化を図ります。
- 「まちなか便利エリア」を「複合業務地」として位置付け、こうした地域においては、各種都市機能の充実・集約化を図るとともに、公共施設のユニバーサルデザイン化を進めます。
- 「まちなか居住エリア」については「専用住宅地」として位置付け、低層住宅を中心とした良好な住環境の維持に努めます。このうち、既に良好な環境を有している住宅地については、地区計画等の手法を活用しながら住宅地の維持又は形成を目指します。
- 市西部の中枢的役割を担う成羽地区を「生活拠点」として位置づけ、立地適正化計画に基づき、都市機能・公共交通の連携した核を形成します。
- 災害により著しい被害が想定される急傾斜地崩壊危険区域、地すべり防止区域、土砂災害特別警戒区域については、市街化の抑制を図ります。

## (2) 都市交通

- 成羽病院周辺は、地域公共交通網計画において「交通拠点」と位置付け、公共交通体形の再編に取り組みます。

## (3) 上下水道・河川整備

- 上水道施設の適正な維持管理を進めます。
- 都市の良好な景観を創出する貴重な自然景観として、成羽川を位置付けます。
- 流域の治水安全度向上の観点から緊急性の高い箇所を優先して整備するよう関係機関に要望活動を行い、適切な維持管理に努めます。
- 洪水時の浸水被害の軽減を図れるよう、関係機関に要望します。
- 既設ダムの洪水調節機能強化(事前放流)の実施により、成羽川の治水安全度を向上する取組を進めます。

## (4) 公園・緑地

- 広域のスポーツ、レクリエーションの拠点として、なりわ運動公園の施設の適切な維持管理、改修を図ります。
- 市民の憩いの場や子どもの遊び場となる身近な公園や広場の充実を図ります。

## (5) 自然環境

- まちを取り囲む山並みの自然環境を保全します。
- 自然環境を豊かな状態で後世に伝えていくため、自然体験や学習の場としての活用を図るとともに、環境保全に努めます。

## (6) 防災・防犯

- ハード及びソフト対策による防災・減災対策を推進します。
- 避難場所の指定及び避難経路の確保、周知に努めます。
- 防犯灯の新設・LED化、防犯カメラの設置に対して町内会等を支援します。
- 高梁市防災マップを活用し、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域、避難所等の情報を住民へ周知し、自助・共助・公助による減災を図ります。

## (7) 景観形成

- 国指定重要無形民俗文化財である「備中神楽」発祥の地として、その特色を各所に生かします。
- 市街地の公共空間において、陣屋町の町並みを活かしつつ地域の人々に親しまれる良好な景観づくりを行います。
- 地域全体の魅力向上のため、主要な道路の沿道景観を整備します。

# 成羽地区まちづくり方針図

第1章 概要

第2章 現状と課題

第3章 将来都市像

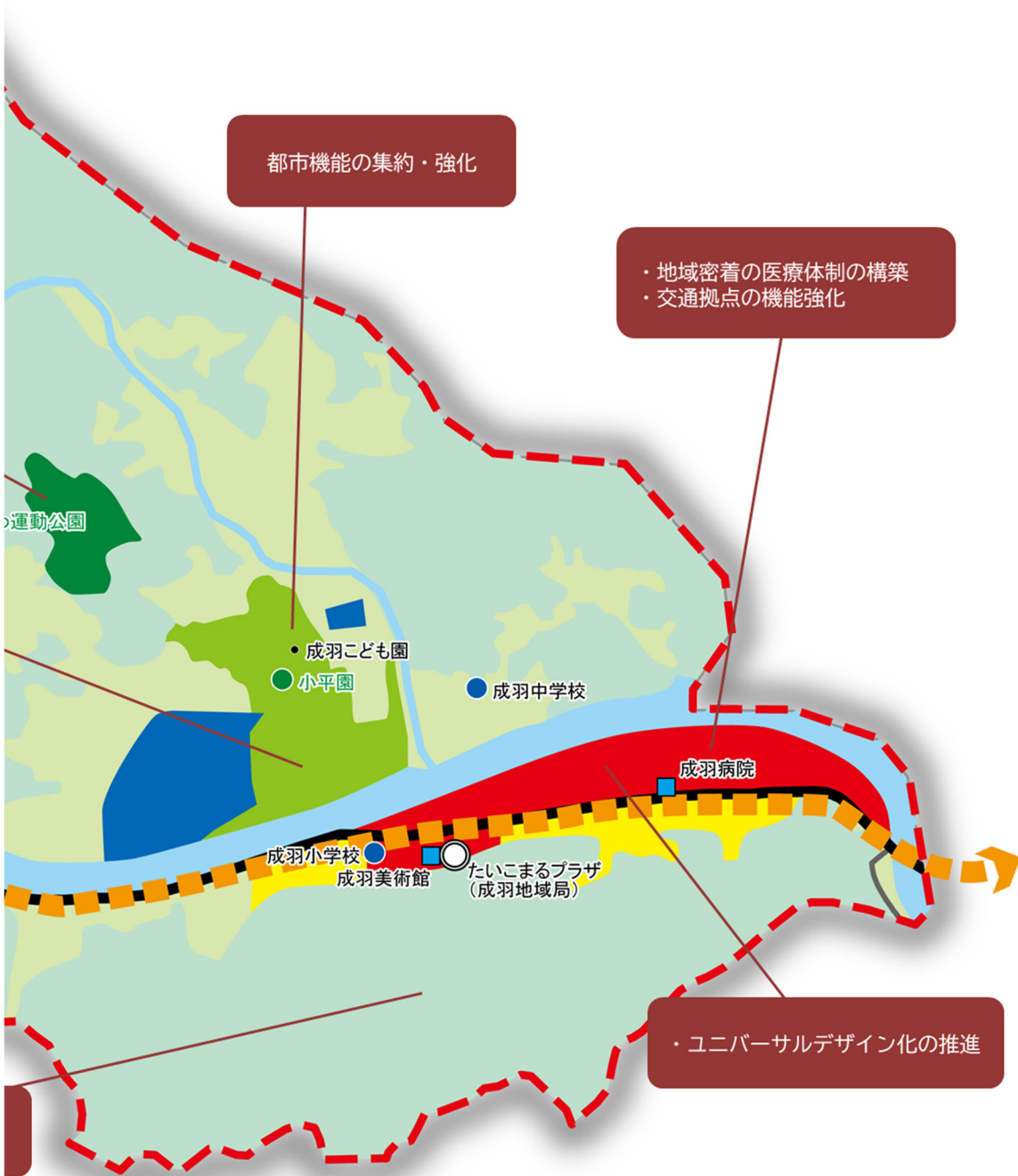
第4章 分野別方針

第5章 地域別方針

第6章 実現方策

凡 例	
---	都市計画区域
■	専用住宅地
■	一般住宅地
■	商業・業務地
■	商業地
■	工業地
● ■	公園・緑地
■	田園集落地
■	山林地
—	河川
—	鉄道・駅
—	国道
—	主要地方道
■	都市施設
●	小学校・中学校
○	市役所・支所
→	地域連携軸





## ④ 高梁地域のまちづくり方針

### ④-1 地域のテーマと目標

**【方向性】 J R 伯備線の交通利便性を活かした産業振興とレクリエーション施設の活用による交流のまちづくり**

#### 目標①： J R 伯備線を活用した地域経済の活性化

本地域を通過する J R 伯備線を中心とした地域においては、適正な土地利用のもとで商工業の活性化を図り、地域経済の活性化を目指します。

#### 目標②： 豊富な自然を活かした定住人口増加への取組み

就農支援などにより、U I J ターンを促進するとともに、本地域の豊富な自然や神原スポーツ公園、高梁自然公園等を活用することで、地域の魅力を高め、定住・交流人口の増加を目指します。

#### 目標③： 高齢者に配慮した公共交通網の形成

公共交通は高齢者の生活に欠かせないものであるため、適正なサービス水準を確保しつつ、収支率向上を目指した、効果的・効率的な運行を目指します。

### ④-2 地域の現状と課題

- ・各地域市民センターを拠点として、地域の特色を活かしたコミュニティ活動が行われています。
- ・神原スポーツ公園や高梁自然公園の継続した維持管理、活用が必要です。
- ・高梁川の環境保全を行い、自然豊かな景観の保全が必要です。
- ・J R 伯備線を有効に活用した商工業の活性化が求められています。
- ・山間地の集落では、人口減少によりコミュニティの維持が課題となっています。

### ④-3 地域のまちづくり方針

- ・J R 伯備線沿線では優れた交通環境を活かしつつ、適切な土地利用のもとで、産業の振興を図ります。
- ・各地域市民センターを単位とする地域を中心に、地域特性を生かした活性化策を継続します。
- ・新規就農者の確保、農地の集積・集約化を進め、本市の主要農産物の供給力を強化していきます。
- ・農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮の促進を図り、農山村の活性化を目指します。
- ・神原スポーツ公園や高梁自然公園をレクリエーション拠点として捉え、利便性や地域のバランス、施設の規模、必要性等を十分に考慮・検討しながら適正な維持管理を行い、魅力を高めることで交流人口の増加を目指します。
- ・空き家情報バンク制度などを活用しながら定住人口の促進を図ります。
- ・地域間を繋ぐ利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。

## ⑤ 成羽地域のまちづくり方針

### ⑤-1 地域のテーマと目標

#### 【方向性】吹屋の町並みを活かした観光のまちづくり

##### 目標①：歴史・文化財の保全と活用

吹屋地区に残る重要伝統的建造物群保存地区を健全な状態で保存するため、地域と一体となった保全活動を推進します。また、積極的な観光PRを行い、地域の活性化を図ります。

##### 目標②：観光客に優しい公共交通サービスの提供

本地域の吹屋地区を訪れる観光客に、より良い公共交通サービスを提供するため、観光モデルコースと連携したサービス提供など、様々な施策を検討します。

##### 目標③：高齢者に配慮した公共交通網の形成

公共交通は高齢者の生活に欠かせないものであるため、適正なサービス水準を確保しつつ、収支率向上を目指した、効果的・効率的な運行を目指します。

### ⑤-2 地域の現状と課題

- ・吹屋地区をはじめとして歴史的財産を多く有しており、それらを活かした地域活動が行われています。
- ・主要な道路には、吹屋街道、かぐら街道、神楽ロードなどの愛称が付けられ、地域の人々に広く親しまれている他、自転車で地域を駆け巡るヒルクライムレースなどのイベントが開催され、多くのサイクリストが訪れています。
- ・吉備高原や成羽川沿いに広がる農山村の風景は、地域の特徴ある暮らしの景観となっています。
- ・山間地の集落では、人口減少によりコミュニティの維持が課題となっています。
- ・まちなかの休憩所や景観的に統一された案内・説明看板の整備、公共交通サービス等、観光客にやさしいまちづくりが必要です。

### ⑤-3 地域のまちづくり方針

- ・歴史的風致維持向上計画に基づいた、景観へ配慮した道路整備や町家保存事業、旧吹屋往来周辺地域景観整備事業等を行い、歴史的景観や文化を保存します。
- ・外国人観光客に向けた表記の充実を図るほか、積極的なPRを行い、観光客誘致に努めます。
- ・市内に設置されている案内看板や説明看板の更新やデザインの統一を行い、観光客にとって優しいまちづくりに努めます。
- ・地域間を繋ぐ利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。
- ・新規就農者の確保、農地の集積・集約化を進め、本市の主要農産物の供給力を強化していきます。
- ・農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮の促進を図り、農山村の活性化を目指します。

## ⑥ 有漢地域のまちづくり方針

### ⑥-1 地域のテーマと目標

**【方向性】有漢 I C の交通利便性を活かした産業振興とスポーツ・レクリエーションを核とした活気あるまちづくり**

#### 目標①：優れた道路交通網を活用した居住環境の形成

有漢 I C 周辺地域の活性化を推進し、利便性の高い居住環境の形成を目指します。また、有漢スポーツパークをスポーツ交流の拠点として、積極的な活用を図ります。

#### 目標②：積極的な企業誘致による地域の活性化

良好な立地環境を活かした積極的な企業誘致、空き家の解消を行い地域経済の活性化を目指します。

#### 目標③：交通サービス空白地域の解消

本地域の一部には、交通サービス空白地域が見られるため、地域の需要に応じた適正なサービスを提供することで、空白地域の解消を目指します。

### ⑥-2 地域の現状と課題

- ・本地域の中央を縦断する主要地方道高梁旭線沿いに事業所・商店等が建ち並び、地域局や認定こども園、小中学校等の行政・教育施設は中心部に集積されています。
- ・多目的グラウンド、グラウンドゴルフ場を備えた有漢スポーツパークやうかん常山公園では、県内外から多くの人々が訪れ、スポーツやイベントを通じた交流が活発に行われています。
- ・本地域の路線バスは幹線のみとなり、交通空白地域が点在しています。
- ・岡山自動車道の有漢 I C を活用した、にぎわいあるまちづくりが求められています。
- ・人口減少に伴った空き家の増加や耕作放棄地の増加が課題となっています。
- ・山間地の集落では、人口減少によりコミュニティの維持が課題となっています。

### ⑥-3 地域のまちづくり方針

- ・地域局周辺においては、日常の生活機能が低下しないよう、既存施設の維持を図り、人口の急激な減少を抑制します。
- ・有漢スポーツパークやうかん常山公園は、市民の憩いの場やスポーツ・レクリエーション活動の拠点として、広域的な交流をより一層推進し、交流人口の増加を図ります。
- ・有漢 I C を有し、良好なアクセスを活かした工業団地の造成を進め、企業誘致を積極的に推進します。
- ・地域の団体と空き家情報バンク制度などを活用しながら空き家の利活用を推進します。
- ・交通空白地域を解消するため、住民のニーズを取り入れながら、事業者とも連携し、地域の状況に即した公共交通ネットワークを構築します。
- ・新規就農者の確保、農地の集積・集約化を進め、本市の主要農産物の供給力を強化していきます。
- ・農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮の促進を図り、農山村の活性化を目指します。



## ⑦ 川上地域のまちづくり方針

### ⑦-1 地域のテーマと目標

【方向性】医療・介護福祉の充実による地域包括ケアの構築と歴史・自然やマンガ文化を活かしたまちづくり

#### 目標①：充実した福祉施設・農業施設を活用した地域経済の活性化

本地域は、福祉施設や農業施設が充実しているため、これらを積極的にPRして、就業者や定住者の増加を図り、地域経済の活性化を目指します。

#### 目標②：安心で質の高い医療・介護サービスの提供

本地域にある地域包括ケアの拠点施設を中心に住民が安心して良質な医療・介護サービスを受けられる体制を整備します。

#### 目標③：歴史的・自然的な景観の保全とマンガ文化を活かしたまちづくり

本地域に多く残されている、歴史的・自然的な景観を適切に保存するほか、これらを観光資源として捉え、また吉備川上ふれあい漫画美術館を中心にマンガ文化を活用することで、地域のにぎわいづくりを目指します。

### ⑦-2 地域の現状と課題

- ・川上地域局周辺には、認定こども園・小学校の教育施設や川上医療所・ひだまり苑等の医療・介護福祉施設、商店等が集積し、日常生活に必要な一定の機能を有しています。
- ・地域のシンボルである弥高山は、雲海で名高い山頂からの眺望や一体を覆う10万本のツツジなど、四季折々の魅力にあふれており、豊かな自然環境に恵まれています。
- ・吉備川上ふれあい漫画美術館を拠点に、マンガ文化のまちづくりを地域活性化事業として展開しており、地域内外の幅広い年齢層から人気を得ています。
- ・山間地の集落では、人口減少によりコミュニティの維持が課題となっています。
- ・既存施設を活かし、農業や福祉をより活性化させる取組が必要です。

### ⑦-3 地域のまちづくり方針

- ・畑地かんがい施設を活用しながら新規就農者の確保、農地の集積・集約化を進め、本市の主要農産物の供給力を強化していきます。
- ・農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮の促進を図り、農山村の活性化を目指します。
- ・住み慣れたまちで安心して暮らせるよう地域包括ケアを実践するとともに、在宅医療に重点を置き、川上診療所や他の関係機関と連携を図り、さらに質の高い医療・介護サービスの提供に努めます。
- ・地域局周辺においては、既存施設の廃止により、日常の生活機能が低下しないよう、適正な維持を図り、人口の急激な減少を抑制します。
- ・公共交通機関の充実と地域間を繋ぐ利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。
- ・吉備川上ふれあい漫画美術館を中心としたマンガ文化の醸成に努めます。

## ⑧ 備中地域のまちづくり方針

### ⑧-1 地域のテーマと目標

【方向性】地域コミュニティの維持と伝統文化を活かしたまちづくり

#### 目標①：農業の振興による地域経済の活性化

新規就農者の確保・定住や高収益作物生産の拡大を図るため、耕作放棄地等を有効活用した新規就農団地の造成を進めます。

#### 目標②：公共交通網の再編による住みよい居住環境の形成

乗合タクシーの導入により公共交通の再編が進む中、公共交通に関する住民との情報・意見交換を積極的に実施し、地域の生活に根付く公共交通網の構築に取り組みます。

#### 目標③：伝統文化の後継者育成

本地域の伝統文化である渡り拍子の後継者の育成を支援し伝統文化の継続的な保全を図ります。

### ⑧-2 地域の現状と課題

- ・営農団地「山光園」を設置し、近代化・省力化を目指した農業を展開し、新規就農者の拡大を図っています。
- ・小中学生の通学便以外の生活福祉バスを廃止し、乗合タクシーを導入しています。
- ・人口減少による地域コミュニティの維持が課題となっています。
- ・農業を活性化させる取組が必要です。
- ・本地域の伝統文化である渡り拍子の後継者不足が課題となっています。
- ・地域の文化財の維持管理や有効活用が必要です。

### ⑧-3 地域のまちづくり方針

- ・耕作放棄地を有効活用した新規就農団地の造成、新規就農者の確保、農地の集積・集約化を進め、本市の主要農産物の供給力を強化していきます。
- ・農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮の促進を図り、農山村の活性化を目指します。
- ・地域局周辺においては、日常の生活機能が低下しないよう、既存施設の適正な維持を図り、人口の急激な減少を抑制します。
- ・地域間を繋ぐ利便性の高い公共交通ネットワークを構築します。
- ・本地域の伝統文化である渡り拍子を後世に伝え残していくため、保存会等への支援や顕彰事業に取り組みます。